

メトホルミン塩酸塩錠MT「DSPB」を のむときに気をつけること

こどもの患者さん向け指導箋

製造販売元

住友ファーマプロモ株式会社
大阪府吹田市江の木町 33-94

販売元(文献請求先及び問い合わせ先)

住友ファーマ株式会社
〒541-0045 大阪市中央区道修町 2-6-8

メトホルミン塩酸塩錠MT「DSPB」を のむときに気をつけること

あなたがのむおくすりはメトホルミンです

- メトホルミンは、血糖値を下げるおくすりです。

おくすり(メトホルミン)ののみかた

- お医者さんまたは薬剤師さんの指示通りにのんでください。
- のむのを忘れてしまったら、1回とばして次の時間に1回分をのみましょう。2回分を一度にのんではいけません。

低血糖に注意しましょう

- 血糖値が低くなりすぎると、強い空腹感、力のぬけた感じ、冷や汗、手足のふるえ、頭痛などの低血糖症状が起きることがあります。
その場合はすぐに糖質を含む食品やブドウ糖をとりましょう。糖質を含む食品とブドウ糖のどちらをとるのがよいかはお医者さんまたは薬剤師さんにききましょう。
- 高くて不安定なところにいるとき、自転車に乗っているときに低血糖症状を起こすと事故につながる危険があります。

《保護者の方へ》

- 患者さんに上のような症状がみられたり、「ボーッとしている、うとうとしている、ろれつが回らない」などの様子に気づいたときには、すぐに糖質を含む食品やブドウ糖をとらせてください。
- アカルボース(商品名:グルコバイなど)、ボグリボース(商品名:ベイスンなど)、ミグリトール(商品名:セイブルなど)という薬をのんでいる場合は、糖質を含む食品ではなくブドウ糖をとる必要がありますので、あらかじめ医師または薬剤師に確認してください。
- 糖質を含む食品やブドウ糖をとれば通常5分以内に症状は改善しますが、よくなりなるときや「意識がなくなる、けいれんを起こす」などの場合にはすぐに医師にみてもらうようにしてください。

乳酸アシドーシスという副作用をおこさないために

- 熱があるとき、下痢(げり)や嘔吐(おうと)があるとき、食欲がなく食べられないなど体調不良のときは、メトホルミンをのむのをいったんやめてお医者さんまたは薬剤師さんに相談しましょう。
- 適度に水分を取りましょう。

《保護者の方へ》

- まれに乳酸アシドーシスという治療が必要な副作用がおこることがあります。症状は、吐き気、嘔吐、腹痛、下痢、体がだるい、筋肉痛、呼吸が苦しい、などです。これらの症状がひどいときまたは続くときは、すぐに医師にみてもらうようにしてください。
- 脱水状態のときは乳酸アシドーシスが起きやすくなりますので、脱水が起きないように注意してください。発熱、下痢、嘔吐、食欲がなく食事がとれないなど体調不良(シックデイ)のときは脱水を起こすことがあります。このようなときは、メトホルミンをのむのをいったんやめて、医師または薬剤師に相談してください。
- 次のときにはメトホルミンをのんでいることを医師または薬剤師に伝えてください。
 - 手術を受けるとき
 - ヨード造影剤を使う検査や治療(造影CT、尿路造影、血管造影など)を受けるとき
 - 別の薬をもらうとき

〈連絡先等〉